

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.325 宇賀地小学校
【危険箇所】 <県道中山竜光堀之内線>
学校校門前の道路
【危険内容】
50キロ規制の追い越し車線の道路となっていて、交通量が多い。工事車両や雪捨てトラックなどの大型車両及び保護者送迎の車の通行量が多い。
【対策】
(県)(市)除雪業者及びスクールバス運行事業者に注意喚起する。
(学校)保護者に注意喚起する。また道路管理者に注意看板の設置を申請する。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.326 宇賀地小学校
【危険箇所】 <国道17号線>
下島集会所前の歩道
【危険内容】
国道を除雪した雪が高く積り雪庇がせり出したり歩道まで雪が入り込んでいる。通学路として使われていない側の歩道には、雪がない状況であった。横断歩道がないため、通学路として使われていない側の歩道を歩くことはできない。
【対策】
(国)除雪業者に情報提供する。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.327 宇賀地小学校
【危険箇所】 <国道17号線>
田川の十字路
【危険内容】
国道を児童が横断する際、歩道で児童が待機しているが、縁石のみ、ガードレールがないため危険である。
【対策】
(国)防護柵のようなものを設置検討する。(2021.10完了)
(学校)集団登校時の集合場所を信号付近ではなく、信号から離れた車庫近くで集合するよう指導する。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.328 宇賀地小学校

【危険箇所】 <主要地方道路柏崎高浜堀之内線>

竜光28号線入口～主要地方道路柏崎高浜堀之内線～県道中山竜光堀之内線

【危険内容】

川口方面と堀之内方面両方への通勤時間帯の車両の交通量が多く、スピードも出している。歩道の白線の幅が狭く、児童のすれすれを車両が通っている状況である。さらに、現在工事車両が通過し、風圧を受け危険な状況である。

【対策】

(県)歩道橋及び歩道設置を進める。

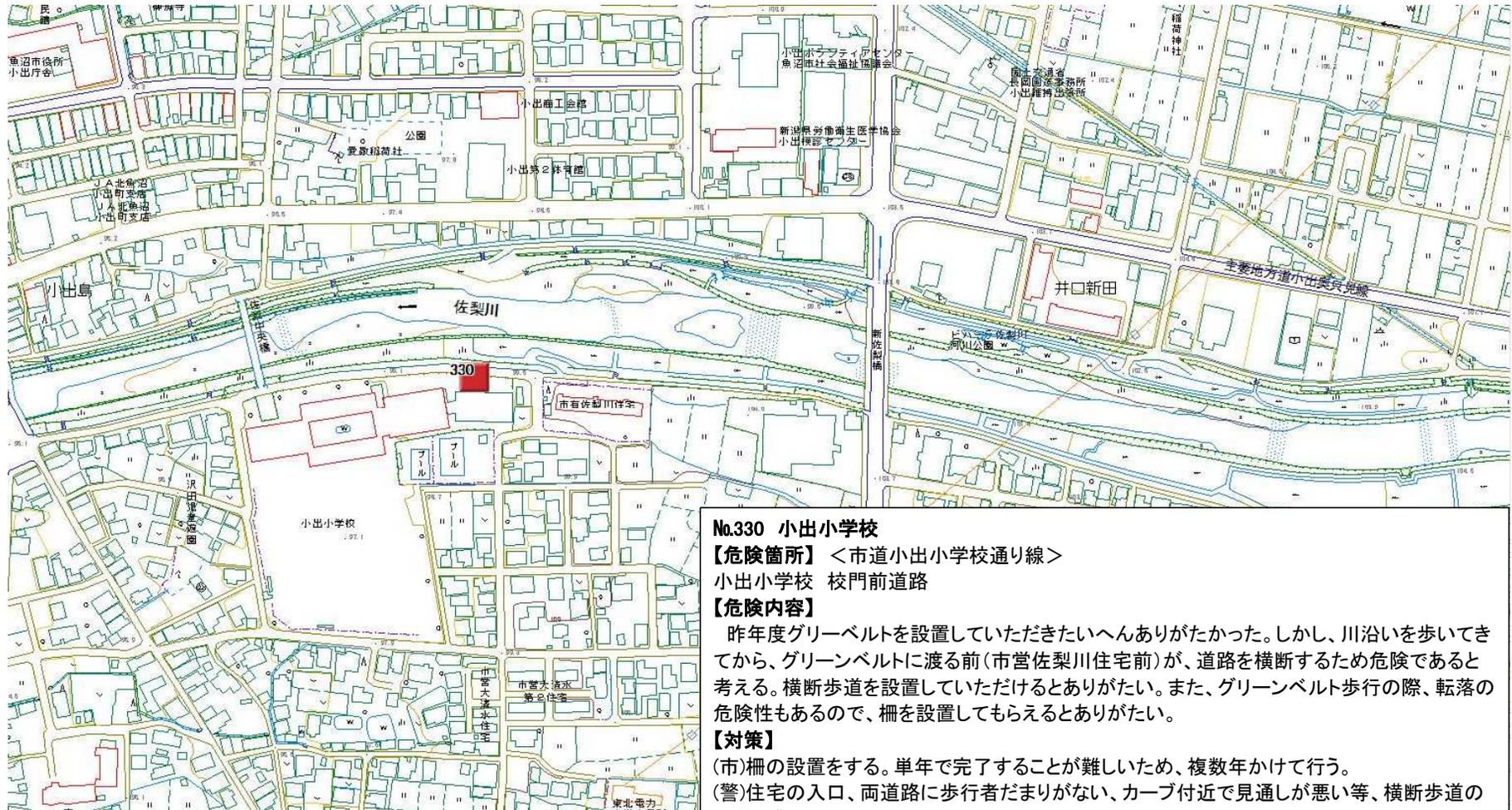
(学校)スクールガードに見守り依頼をする。また道路管理者に注意看板の設置を申請する。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.329 堀之内小学校
【危険箇所】 <市道宮林3号線>
永久橋付近 (98と同じ。再調査)
【危険内容】
用水脇に柵などが無い。大石川にかかる橋の欄干がかなり低い。
【対策】
点検時には、整備済み。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.330 小出小学校
【危険箇所】 <市道小出小学校通り線>
小出小学校 校門前道路
【危険内容】
昨年度グリーベルトを設置していただきたいへんありがたかった。しかし、川沿いを歩いてきてから、グリーンベルトに渡る前(市営佐梨川住宅前)が、道路を横断するため危険であるとする。横断歩道を設置していただけるとありがたい。また、グリーンベルト歩行の際、転落の危険性もあるので、柵を設置してもらえるとありがたい。
【対策】
(市)柵の設置をする。単年で完了することが難しいため、複数年かけて行う。
(警)住宅の入口、両道路に歩行者だまりがない、カーブ付近で見通しが悪い等、横断歩道の設置は難しい。
(学校)子どもたちに継続的に指導する。可能であればスクールガードに見守り依頼をする。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.332 湯之谷小学校
【危険箇所】<主要地方道小出奥只見線>
元魚沼ホルモン前
【危険内容】
元魚沼ホルモンの建物が空き家になっていて、今年の大雪で一部壊れているため倒壊し
そうで危険。
【対策】
点検時、一部対応してあることを確認済。
(市)地域創生課で確認中。
(学校)該当児童への通学指導を行う。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.333 湯之谷小学校
【危険箇所】<市道井口新田6号>
国道352入口ー市道井口新田6号
【危険内容】
元道路の両脇の白線が全て消えている。
【対策】
(市)白線の引き直しを行う。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.334 湯之谷小学校
【危険箇所】<市道井口新田11号>
井口公民館近くの信号から学校方向へ
【危険内容】
グリーンベルトの線が消えている。
【対策】
(市)グリーンベルトの引き直しを行う。

令和3年度通学路点検 対策箇所図



令和3年度通学路点検 対策箇所図



令和3年度通学路点検 対策箇所図



令和3年度通学路点検 対策箇所図



No.339 広神西小学校
【危険箇所】＜市道親柄金ヶ沢線＞
魚沼市金ヶ沢 252線の合流地点から100m～150m付近
【危険内容】
側溝と路肩の幅が狭い上、側溝の水が勢いよく流れている。万が一側溝に落ちた場合、下流まで行く恐れがあり、危険である。
【対策】
(県)看板設置の許可申請受取の担当を確認するため、どこの道路区域なのか調査をする。
→調査後、市である事を確認。
(市)地域要望があがっているため、その要望を踏まえて対応を検討する。
(学校)該当児童への指導を行う。看板設置の申請を行う。